



## 「シーニックバイウェイ紀南(仮称)」の正式名称が 『日本風景街道 熊野』に決定しました!

去る10月15日、シーニックバイウェイ紀南(仮称)第2回 推進会議が「Big・U(和歌山県立情報交流センター)」において開催されました。

昨年来、シーニックバイウェイ紀南(仮称)として続けてきましたが、この度正式名称が「日本風景街道 熊野」に決定しました。新たな名称のもと、参加団体・行政一丸となって活動を盛り上げていきましょう!

### 会議での話題は。。。

正式名称決定の他に、第2回 推進会議では、「迎える地域」と「訪れる人」が豊かな交流を共有できる「熊野」をめざし、今後の活動の方針や議論が行われました。

#### ～ 議 事 次 第 ～

1. 挨拶
2. 会長の決定
3. 正式名称の決定
4. 規約の改訂について
5. これまでの活動について  
各種会議運営について  
地域運営会議の代表者  
具体的な取り組み
6. 課題と今後の活動方針について  
方針の提案  
集中月間の実施  
これからの活動

#### 「会長」「副会長」決定!

今年度の推進会議の「会長」「副会長」が決定しました。

[ 推進会議会長 ]

・古守さん(NPO 花つぼみ)

[ 推進会議副会長 ]

・佃さん(古座川町地域運営会議 委員長)

・蜷川さん(那智勝浦町地域運営会議 委員長)

#### 推進会議の様子



#### 日本風景街道 熊野 推進会議委員

##### < 会長 >

NPO 法人花つぼみ	理事長	古守 一晶
------------	-----	-------

##### < 副会長 >

古座川町 地域運営会議	委員長	佃 奈津代
那智勝浦町 地域運営会議	委員長	蜷川 勝彦

##### < 委員 >

田辺観光協会	会長	多田 稔子
筑波大学大学院	教授	石田 東生
和歌山大学 経済学部	助教授	鈴木 裕範
和歌山工業高等専門学校	助教授	伊藤 雅
和歌山県 県土整備部	部長	宮地 淳夫
国土交通省 紀南河川国道事務所	事務所長	沢田 道彦
大辺路再生実行委員会	広報役	辻田 友紀
ホームページ作成委員会	委員長	梶谷 昭治
広域活動団体会議	委員長	辻田 友紀

#### < 委員 >

日高川町	-	-
美浜町	-	-
御坊市 地域運営会議	委員長	玉置 貞昭
印南町 地域運営会議	委員長	森川 要
みなべ町	-	-
田辺市 地域運営会議	委員長	古守 一晶(仮)
上富田町 地域運営会議	委員長	上羽 寛
白浜町 地域運営会議	委員長	長野 荘一
すさみ町 地域運営会議	委員長	朝本 紀夫
串本町 地域運営会議	委員長	堀口 一志
古座川町 地域運営会議	委員長	佃 奈津代
太地町 地域運営会議	委員長	須川 時夫
那智勝浦町 地域運営会議	委員長	蜷川 勝彦
新宮市 地域運営会議	-	< 調整中 >
北山村 地域運営会議	-	< 調整中 >

## 地域を代表する委員の皆様、活発なご意見がありました！

### 正式名称について

- ・ 推進会議にて「日本風景街道 熊野」という名称の提案があり、満場一致の了承を得て決定しました。

### 規約改訂について

- ・ 市町村の枠を超え広範囲に活動される団体に対して新しく設置された「広域活動団体会議」に関する条項、日本風景街道 熊野の活動に関する事業等に設置される「各種委員会」に関する条項、及び「活動団体の新規参加・退会」の条項について改訂を行いました。事務局からの提案に対して一部訂正がありましたが、訂正を基本に了承を頂きました。

### これまでの活動について

- ・ 推進協議会発足以降の各種会議運営、広報活動、具体的な活動展開、視察への協力を行ってきたこと等を事務局からご報告致しました。

### 課題と今後の活動について

- ・ 事務局から「日本風景街道 熊野」の今後の活動方針について提案し、コンセプト・実施計画立案の手順及び集中月間の実施等について了承いただきました。
- ・ 事務局提案に対し、各委員から活動を成功に導くため真剣な議論がありました。一部ですがご紹介致します。
- ・ 支援は、国道のみなのか？地元の財政を考えると無理なのではないか？
- ・ 北海道では成功しているというが、道内では地元の方にどれほど認知されているのか？
- ・ 日本風景街道の「理念」って何？
- ・ 「何をしたいのか？」を地域に問われても、地域は自分たちが「機嫌良く」生活していけたら良いだけだ。地域がどのようにしたら「機嫌良く」生活できるのか、アドバイスして欲しい。
- ・ 北海道の事例を視察に行くことは出来ないのか？
- ・ 何をどのようにしていくのが「シーニック」なのかわからない。みんなで地域づくりをしていく認識でよいか？
- ・ 和歌山県独自の活動としてNPO協働推進課の方で、NPOが提案する企画に対して予算措置をしてくれる。日本風景街道においても行政側からの具体的なアプローチ（予算の）が必要だと思う。
- ・ 百年前から大自然が豊かな地域である。開発が遅れたことにより世界遺産にも登録された。これを子供たち次世代に残していきたい。
- ・ 省庁等も隣同士の垣根を越えて繋がっていくことが大事ではないか。
- ・ 行政側も近年は変わってきており、地域に耳を傾けているのだと思う。この日本風景街道もそうであると理解している。
- ・ 「理念」や「活動支援」については、国としての明確な方向性が示せるよう「戦略会議」の場で提案していく。
- ・ 北海道では地域が「何をしたいのか」を明確にする形で実施し、成功している。北海道の活動を視察に行きたいという意見もある。是非検討してもらいたい。
- ・ 地域が行政・専門家とタイアップし、コミュニケーションを増やし、議論していくことが重要。議論を重ねることにより、前向きな意見も出てくる。このような議論も、一つの大きな成果だと思う。
- ・ 国土交通省は、道路・河川・観光もテリトリー。しかし、紀南地域の景観の大半を占める「農業」「林業」については農林水産省。横断的に進めていくことが必要になってくる。
- ・ 地域活性化が目標であり、「地域の人が する。」という事が地域の活性化に繋がると思う。この取り組みでは、地域の人が自分たちで「どうしていきたいのか」を考えていくことが大事と思う。
- ・ これからの活動を続けるためには地域の連携（つながり）が大事である。

「日本風景街道 熊野」推進協議会の活動に関するご意見・お問い合わせは

「日本風景街道 熊野」推進協議会事務局

和歌山県 県土整備部 道路局 道路政策課 TEL：073-441-3116 FAX：073-441-3107  
国土交通省 紀南河川国道事務所 工務課 TEL：0739-22-4564 FAX：0739-26-1641